

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 12020020

政策目標	3 のびやか・雄武～教育・文化の振興～	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	13 生涯学習・生涯スポーツの推進	事業優先度	B	
単位施策	1 推進体制の強化	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)	
事業名	紋別地区高齢者交流の集い	見直し年度		
事業期間	平成25年度～平成29年度	担当課	12 教育委員会教育振興課	
事業主体	雄武町	関係課	#N/A	
事業指標	研修会の実施	関係課	#N/A	
事業目標	講演会及び学習発表会	ハード/ソフト 事業区分	2 ソフト事業	
住民参加	無	関係例規・法令名	無	
住民協働		関係個別計画名	無	

全 体 計 画		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
事 業 内 容		事 業 内 容	事 業 内 容	事 業 内 容	事 業 内 容	事 業 内 容
計 画 内 容	紋別地区高齢者交流の集い ・講演会 ・学習発表会	紋別地区高齢者交流の集い ・講演会 ・学習発表会				紋別地区高齢者交流の集い ・講演会 ・学習発表会
	事業費(千円)	200	100	0	0	100
計 画 事 業 費	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
	一般財源	200	100			100
実 績 事 業 費	事業費(千円)	145	45	0	0	100
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
一般財源	145	45			100	
関 連 事 項	特定財源の名称		(実施内容等) 講演会 学習発表会	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等) 講演会 学習発表会
	【評価・実績】		※事務事業評価結果 A-終了	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持
	前期計画からの継続 (継続無し)	年度目標値 講演会、学習発表会				講演会、学習発表会
	第6期計画への継続 (継続無し)	年度達成率	45%	#DIV/0!	#DIV/0!	100%
		全体達成率	23%	23%	23%	73%
	備考欄					

事業名	紋別地区高齢者交流の集い	評価者 管理職 職氏名	教育振興課長	新谷 朋人
		評価者 作成者 職氏名	生涯教育係主査	櫻井 輝久

様式1
平成29年度実施
平成30年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	紋別地区4市町の高齢者教室参加者	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	講演会、学習発表会の実施								
【抱える課題やニーズは】	日頃の学習成果を発表する機会を提供することにより、高齢者の生活に活力を与え、参加者間の交流の場を創出する。	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値								
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	近隣市町村の高齢者との交流により、参加者の活動意欲及び学習意欲向上を図る。	① 講演会、学習発表会の実施	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>平成29年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>1回</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>1回</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>100.0%</td></tr> </table>	目標年度	平成29年度	目標値	1回	実績値	1回	達成度	100.0%
目標年度	平成29年度										
目標値	1回										
実績値	1回										
達成度	100.0%										
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	高齢者が健康で生きがいある生活を送ることを目的とする。	②	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>平成29年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>〇〇</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>〇〇</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>#DIV/0!%</td></tr> </table>	目標年度	平成29年度	目標値	〇〇	実績値	〇〇	達成度	#DIV/0!%
目標年度	平成29年度										
目標値	〇〇										
実績値	〇〇										
達成度	#DIV/0!%										
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	募集	各地区老人クラブに対し参加者を募ったほか、非加入者には新聞チラシ折込で高齢者教室の参加募集を行った。									
	講演会	テーマ「人生楽しく！笑って泣いて」(歌とトークで元気になぁ～れ！)オールド・テンブラーズ(古寺幸夫氏外4名)									
	学習発表会	コーラス・ダンス・カラオケ等									

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	高齢者の学習成果発表の場を提供し、学びの場を創出することは教育行政が担う必要がある。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
/課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	計画どおり事業を実施し、学習の発表機会及び近隣市町村の高齢者が交流する機会を提供することができた。
有効/概ね有効	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
/課題あり	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	アンケート結果では参加者の満足度も高く、予算範囲内で効果的に事業を実施することができた。
効率的/概ね効率的	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制	
/課題あり	<input type="checkbox"/> 人員削減	
	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

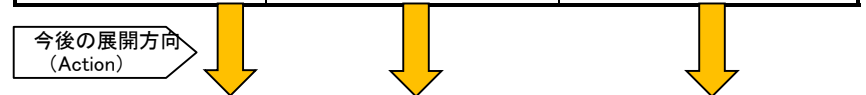
公平	判断の理由	高齢者を広く対象とした事業であり、公平性は保たれている。
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
/公平でない	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
アンケート結果では参加者の満足度は高く、効果的な事業を実施することが出来た。		



継続/現状維持		
本事業は西紋地区4市町が持ち回りで開催する共同実施事業であることに加え、参加者からも好評だったことから継続とする。なお、次回の本町開催は平成33年度となる。		

※展開方向の区分

- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
- 終了 ○休止 ○廃止